

TREE Seminar

10月27(木) 5206教室 17:00 ~ 18:00

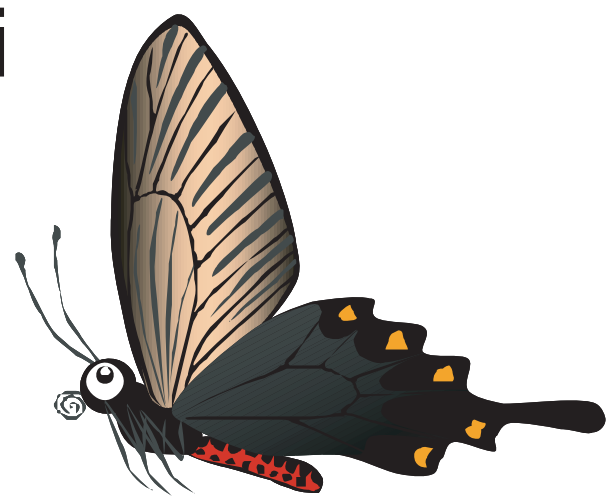
シカが植物の量的・質的变化を介して ジャコウアゲハに与える間接効果

高木 俊 Shun Takagi

東京大学大学院農学生命科学研究科
生物多様性科学研究室 博士課程3年

10月27日(木) 5206教室

17:00 ~ 18:00



〔要旨〕

生物は環境に合わせて形質を柔軟に変化させる表現型可塑性を持っており、可塑的な形質の変化は、生物間の相互作用にも影響する。形質変化を介した間接効果は、密度を介した間接効果と同様に生態系に広く存在し、群集構造に影響する重要な要因として認識されている。形質変化と密度変化を介したプロセスは、しばしば変化の時間スケールに差があるため、両プロセスの相対的重要性を考えるうえで時間スケールの考慮が必要となる。

